

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定額 前金貳圓 月刊五圓 半年三十圓 全年六十圓 廣告費 五字一圓 十字一圓 二十字一圓 三十字一圓 五十字一圓 刊例 日曜大祭 祝日ノ翌 日刊 祝日ノ翌 日刊 祝日ノ翌

二月九日夕刊



品質ノ優良+値段ノ安價=阿部石炭商店ノ石炭

電話二三七番—配達迅速

特長

- 一 品質ノ一定セル
- 二 正貫取引ノタメ目方ノ正確ナル
- 三 大量購入ノ結果買入値段ノ安キ

一日ノ採炭二百五十車ノ大量生産

常盤第一ノ優良炭田ヨリ産出スル

◎平驛前(ツ)阿部石炭商店

磐城炭礦株式會社ノ一手販賣

平の山の手の稱ある胡麻澤の高台 縣社八幡宮裏手の參千餘坪の土地をお貸しします。

- ◇春うららかに夏は新緑滴る郊外住宅。秋色たゞよい冬暖かな郊外住宅。小供の健康によい郊外住宅。附近の重なる建物—八幡宮。中學校。裁判所。小學校。女學校。
- ◇水道電氣の取附容易
- ◇御希望の方は左記へ御來訪下さい

四丁目 マツモトヤ 電話二二四番 百澤商 電話一二番

練習社員募集

(男女不問相當學力アル人) (年齢二十二歳以上四十歳迄)

練習期間五十日手當支給

(本人履歷書持參面會日十日午前中)

常盤生命仙台北支部平假出張所

所長 榊原正春

出張所 平町新藤屋本店内

常盤毎日新聞

禪の公案

木村正三郎

斯く長々とお話は致したが、本則の眼目は唯吹滅燭火の四字に在るので、公案としては餘りむづかしくない部に屬せませうか。私は斯様なお話を致しても教育者に禪其の儘をお勧めする次第では決してありませぬ。唯若し教育者にして此の吹滅燭火の意味と呼吸とを會得せられるならば、教育上好箇の參考となつて、有効で且つ斬新な教授法が案出せられ、従つて生徒も大益を得るに至るであらうかと思ふのであります。少くとも師弟の間に或物を授受するといふ點に於いて、禪家の徹底的手段は、宗教であるからといふ理由を以て之を閉却するは、惜しむべきものだと思ひます。

庵人庵を治めずと雖も、尸祝祖を越えて之に代らずとは、千古の名言と信じますので、今日は犬殺しが宗教を説き、博打も政治を談する時勢なるに拘らず私は猶舊慣を守るつもりで居りましたに不圖した動機から越祖の禁を犯すことになりました、來世は口の無い者か手の無い者に生れるかも知れませぬ。

十日診療開始

内科 菊地泰助

外科 皮膚泌尿科 野田宏

産婦人科 耳鼻咽喉科 追込開始

平町 城 共濟病院

電話六四四番

診療時間午前九時より午後二時迄 急患は此限りにあらず

森下の大景品 付大賣出し

目茶苦茶の安賣金貳拾錢以上御買上の方に 大景品差し上げます

玩具、文具、糸類

森下商店

屋號まめ屋 平町一丁目

名持 入提 拭供

吉田専 染工場

電話五五八番 (發替仙台北五三二八番)

御通知次第見本持參の上御伺ひ申します

アルミニウム食器は

一丁目 (電話五百六十番)

關原商店

小兒科一般、内科、皮膚花柳病科(血液検査) 外科、婦人科、耳鼻咽喉科

平町 實費病院

平町郵便局裏(電話五一五番)

平町 吉田眼科醫院

是は餘談であります、徳山は後に龍潭の嗣法となつて大いに宗風を振作した唐代の傑僧宣鑑禪師其人であります。師は又有名な棒使ひでありまして、參學の坊主どもの頭を瘤だらけにした人です。臨濟の一喝徳山の行棒と來ては、天下納僧の心腹を寒からしめたものでした。併し峻嚴な中にも何となく愛敬の想像せらるゝ人で、紀州の俳人槐亭といつた人の發句に「徳山も麵棒沙汰や春の雨」といふのがあります、雲門といふ祖師も行棒では高名でありましたが作者がそれを舍いて徳山を詩材に取込んだ處を見ると、誰の心にも同じやうな面影が映るものが見えます (をばり)

内科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。

磐城病院

平町田町本通り 入院隨時(電話二一四番)

外務社員大募集

一、年齢廿歳以上四十五歳迄

一、個定給の外賞與多大支給す

希望者は履歷書持參午前中左記へ御來訪を乞ふ

平町仲町一四

仁壽生命保險株式會社

平監督所

只聖恩に感泣するのみ 大赦に浴して 復権した

仲里辯護士の感激談

大正十三年の總選舉に於て石城郡より立候補したる製藥王聖一氏の選舉運動に従事しその作成配付したる文書の内舊法第八十七條第一項四號の所謂

現場員慘死 入山の坑内で

湯本町入山採炭會社では去る六日午後十時ころ俄に電力不足を告げ多量の水が場員静岡縣生れ山本隆吉(三)は入坑作業中同十一時十五分ころ岩石崩潰し隆吉は無残にもその下敷きとなりて全身數ヶ所に重傷を負ひ死亡した

磐炭の爭議は... 言論戦へ展開

磐城炭礦爭議は七、八の兩日は双方共に休戦を宣し謹慎してゐるが六日には東京市より建國會常任幹事赤尾敏氏が來山し會社幹部並に磐炭會幹部と會談の未建國會は會員五十名を今九日に引つれて來山し



肉の買方と食方

肉の買方と食方
一番安全なのは、店の大小よりよく賣れる所を買ふことです、何時もよく賣れる店は、何うしても新しい肉がどしどし來るわけになりま

利係主任技師が出廷原告側代理と論争する處あり川崎本社長も葬場殿の参入を了し滞京傍聴したので状況は歸社後に於て報道する

に於て負ふ由である。又今九日は建國會より上杉慎吉博士、國粹會より高岡陸軍中將等が來山し内郷村磐城座で演説會を開催したに對し一方でも平劇場に於て演説會を開き對抗

高坂坑は 就業者増加

綴坑は依然罷業
争議中である磐城炭坑の争議は八日午前六時高坂坑の就業者は百五十名で平常の三分一にまで回復したが綴坑は依然として罷業をつけてゐる

減刑卅六名

復権者三千人
恩赦について平刑務支所では七日午後二時在監者四十九名を教誨堂に集め有りがたい聖旨を傳へて訓話をなしたるが八日は千葉平區裁判所監督判事午後吉田平商業學校長の訓話があり減刑の恩典に浴した者は卅六名である又平検事局管内石城双葉の兩郡で刑の執行猶豫中減刑された者は五十二名で一昨年四倉騒擾事件に連座した十二名の者もそれれ減刑されたは復権する者は受刑者約八千人の中三千人に達する見込みで調査中であるが前回の縣會議員選舉違反で選舉權停止中の二百名も復権するであらうと

大瀧問題の 録記速會縣題問瀧大

(七十)

井上氏の質問演説續き
茲に於て株主總會は決議をしまし更に株主に通知した其案文は「謹啓仕候陳者本月十四日附御通知申上置候通

ることに決定致し候間此段御通知申上候、大正十三年一月二十九日小田炭礦株式會社取締役社長小田吉次」

工事竣功したるとき「事業相當進行し成功の見込ありと認むるとき」斯ふ云ふ二ヶ條である、斯ふ云ふ立派な規定を縣自ら制定して置ながら、是が取締を爲さぬと云ふことはどう云ふことであるかと云ふことを私は

様な違反したことを御取締りにならぬのであるか、此水利規則なるものは他の問題に向つては取締るけれども、大瀧發電所の問題に向つては取締をせぬと云ふのであるか、どう云ふ御意思であるかと云ふことを私は

昨日内務部長から答辯した詳細は缺席の爲めに承知しないのでありますが、大体的に決定したものであります、私共としては今日如何ともすることの出来ない状態なのであります、尙ほ水利使用規則の運用の點に付ては只今御質問になりましたが是も規定を今此處で宙に覺て居ませぬが、必ず取消する云ふ規定でないやうに私は記憶して居ましたが、誤つて居つたら取消します「取消することあるべし」さう云ふことを不都合と認められた時に「あるべし」と書てある様に記憶して居ます